

石巻港復興だより 第7号 <<特集>>

～防災・復興の支援企業を紹介～

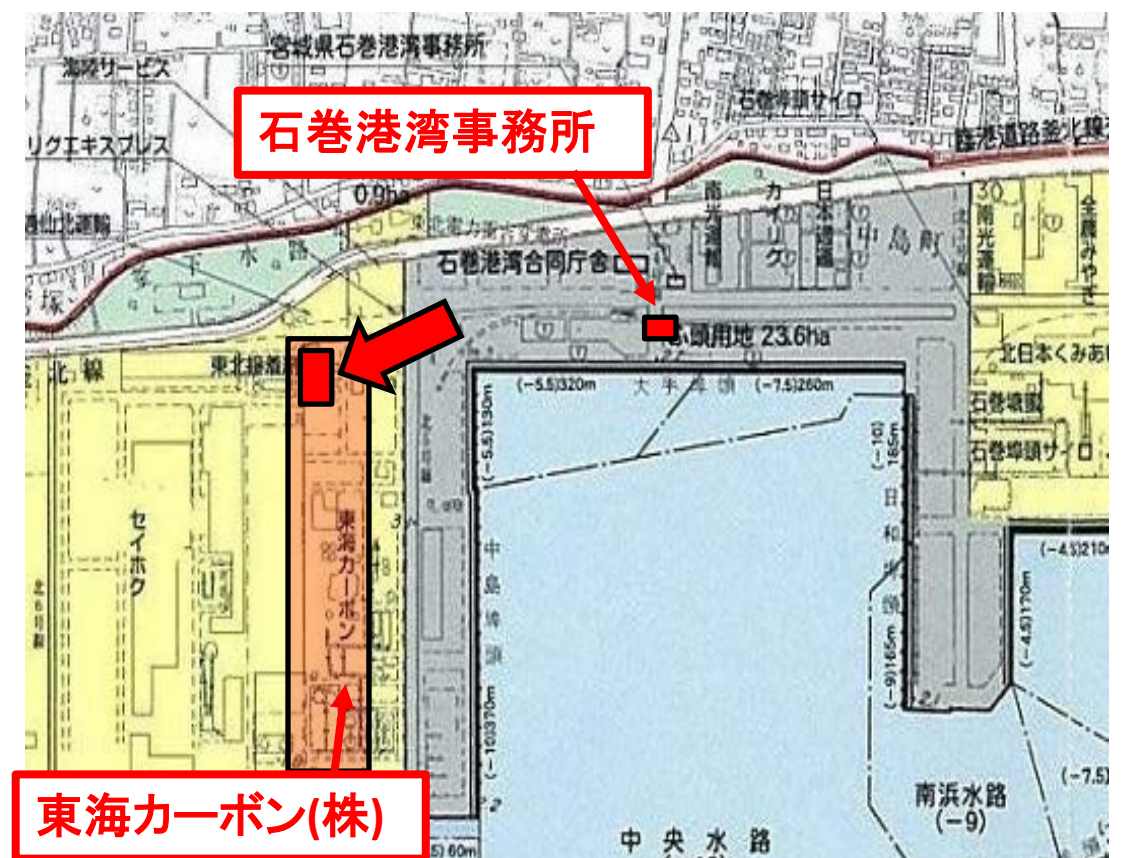


★東海カーボン(株)石巻工場 石巻港エリア初の津波避難ビル※に認定！！

平成25年6月27日に東海カーボン(株)石巻工場が石巻市津波避難ビル第4号に認定されました。

そこで、総務課長 石黒晃朗様にお話を伺って来ました。

※津波発生時に、津波浸水域外の、より高い場所へ避難し遅れた市民の安全性を確保する為に、民間事業者等が設置する施設を活用し、津波一時避難場所としています。



東海カーボン株式会社 石巻工場
所在地: 石巻市重吉町1番10
TEL : 0225-93-3611

★東海カーボン(株)石巻工場について★

<主力製品:『カーボンブラック』>

自動車タイヤ・チューブなどのゴム製品の補強材として利用される。

樹脂着色・各種インキの黒色顔料や導電性付与剤としての役割も担っている。

<震災時の状況>

大地震の約1時間後、東海カーボン(株)石巻工場へ4.3mの大海津波が襲った。地上から4m以下にあった設備等全てに被害があったが、当直従業員及び関連会社従業員の全員が無事であり、人的被害はなかった。

<復旧の状況>

工場の復旧にあたっては「**災害に強いプラントを早期に再稼働**」のコンセプトを基に

- ① **安全第一で迅速な再稼働**
- ② **人命確保**(地上10m津波避難ルームを持つ事務所棟新建設)
- ③ **重要設備の防御**(プラント制御システムを地上6m建屋に新設。受変電設備を地上5m架台上に新設)の3つの柱をたてて取り組み復旧。2012年1月に再建。

②により設置した避難ルームについては、今年6月に石巻市の「津波避難ビル」に認定された。

<震災後の状況>

人的被害が無かった為比較的早期に再建したが、震災後に中国製品がシェアを広げた為、生産量は震災前よりも減少し、75%程度の稼働率となった。しかしながら、安定した製品を供給できている。

<津波避難ビルについて>

「人命確保の為より安全な場所を！！」という目的で3階(約10m高)に避難ルームを確保した。



避難ルートが随所に分かり易く表示されている



避難ルーム
広さが約140㎡あり、24時間開放している。90~100名程度は余裕で収容できる。



屋上避難スペース
屋上(約13m高)に避難ルームと同等程度の広さを持った屋外避難場所がある。



備蓄室
独自で用意した備蓄品の他、定期的に市からの物資も入れ替えされており、安心して避難できる。



災害用備蓄物資



衛星電話



自家発電機

マスクや
カセットコンロ



避難ルームにある約16㎡の備蓄室には、ヘルメット、懐中電灯や発電機、食糧品、マスク、カセットコンロ等多種の物が備蓄されている。

門扉近くより避難誘導の道案内板も随所建っており、一般避難者にも分かり易くなっている。

また、海寄りの建物とは別棟になっている事で、海寄りの建物が津波の勢いを小さくする様な工夫がされており、より安全を意識した構造になっている。

お近くにお勤めの方は、是非一度場所をご確認ください。

石巻港に復興支援企業が立地しました！

昭和瀝青工業(株)東北営業所

昭和瀝青工業(株)東北営業所が立地しました。
そこで藤岡所長にお話を伺ってまいりました！

○何を扱っているのでしょうか？

昭和瀝青工業東北営業所では、アスファルト合材の原材料となるストレートアスファルト*1と改質アスファルト*2を扱っています。

○なぜ石巻に立地しようと思ったのでしょうか？

社長は震災で一番被害の大きかった石巻を見てどうしても協力できないかと考え誘致企業として一番にやってきました。

○昭和瀝青工業(株)の立地が地域にもたらしたことは？

アスファルトは災害復旧において必要不可欠な資材であり、広域にわたって出荷されます。震災時、新潟の工場から配送を行ったが、時間がかかり供給が追いつかない状況であった。そこで東北営業所を石巻に設置することにより、東北6県への資材の安定供給が可能になり、石巻を始めとした東北6県に大きく貢献しております。



:改質アスファルトタンク

一基につき80トンの貯蔵が可能であり、タンクには攪拌機と保温設備が付いている

:ストレートアスファルト専用栈橋

栈橋につけた船舶からストレートアスファルト貯蔵タンクに、圧送する



:ストレートアスファルト貯蔵タンク

タンクには、ストレートアスファルトの種類によって異なるが、1500-2000tの貯蔵が可能である



:工場全景

昭和瀝青工業(株) 東北営業所

所在地
宮城県石巻市重吉町5-4
TEL 0225-92-7881
FAX 0225-92-7882

*1 ストレートアスファルトとはアスファルトの原材料となるもので、原油から抽出される。

*2 改質アスファルトとはストレートアスファルトに添加剤を加えたもの。わだち対策や排水性舗装に利用される。

前田道路株式会社 石巻製品販売所

前田道路(株) 石巻製品販売所が立地し、9月26日に開所式が行われました。
そこで杉山工場長にお話を伺ってまいりました。

○何を扱っているのでしょうか？

石巻製品販売所では、主に古川工場で作られたアスファルト合材の保管・販売を行っています。
合材のほかにも乳剤や常温合材(袋)や小物など、舗装に関するものを取りそろえています。

○なぜ石巻に立地しようと思ったのでしょうか？

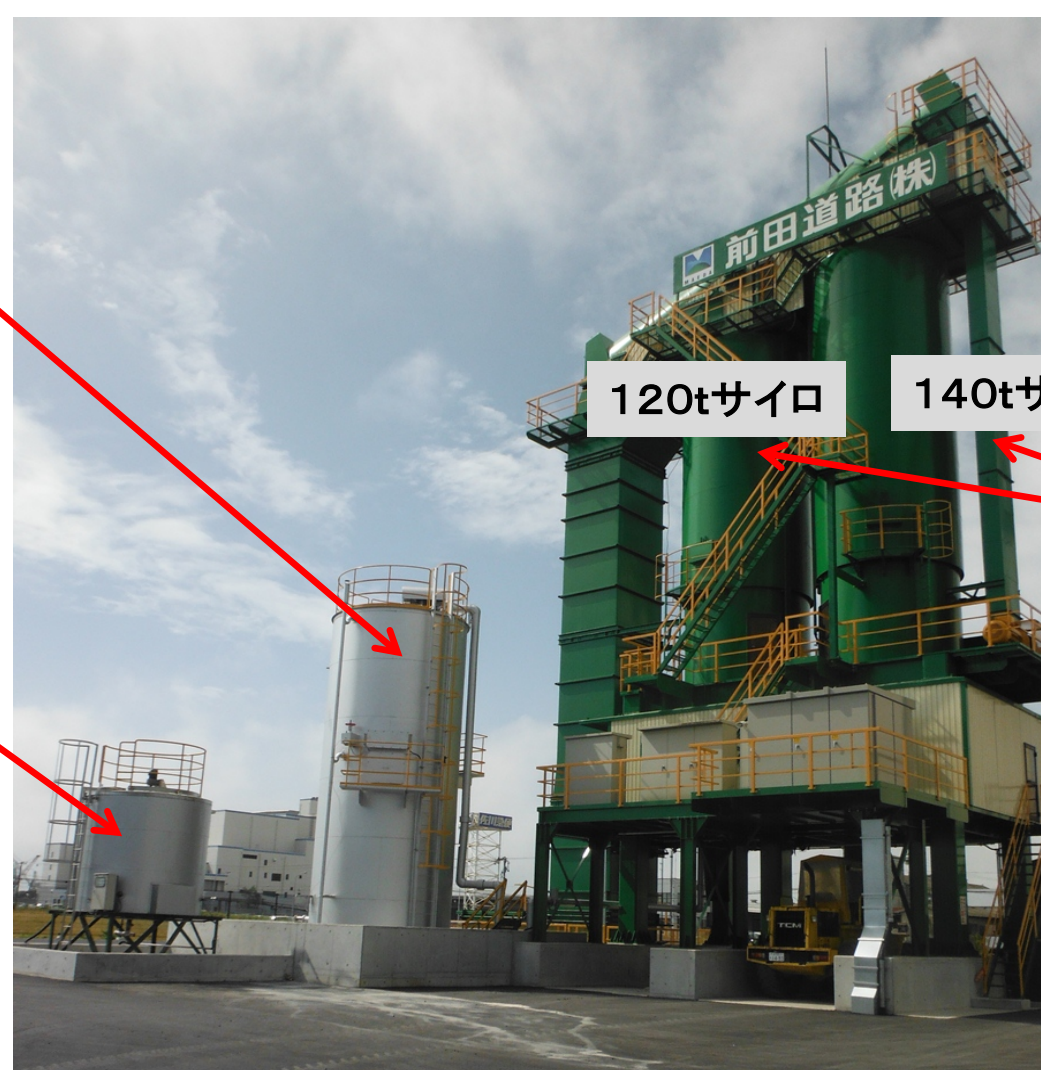
遠隔地からの中継基地となる石巻に販売所を設けることにより、迅速な合材の出荷が可能となり半島部や離島部にも安定して資材を供給することができ、復興に少しでも貢献できればと考え立地を決意した。

○前田道路(株)の製品販売所立地がもたらしたことは？

半島・離島部への合材の迅速かつ安定な供給が可能になったほか、それらは少量での注文も可能なため、資材を効率的に使用することが可能となっています。
復興に必要な不可欠なアスファルト資材の安定供給という点で、石巻だけではなく宮城県全体に大きく貢献しております。

：アスファルト貯蔵タンク

：アスファルト乳剤タンク
タンクには10tの乳剤を貯蔵することが可能である



：合材保管サイロ
温度管理された2つのサイロには合計260トンの合材を貯蔵することが可能です。サイロで保管することにより、迅速な出荷が可能である



：工場全景

前田道路(株)石巻製品販売所

所在地
宮城県石巻市重吉町5-1
TEL 0225-25-6681